

明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 開催状況

1 会議名	令和2年度第4回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会
2 開催日時	2021年（令和3年）2月5日（金曜日）（書面による議決日）
3 開催場所	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により書面開催
4 参加者	分科会委員8名
5 内容	<p>1 議事</p> <ul style="list-style-type: none">（1）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）について（2）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画（素案）に関する意見募集結果について（3）第8期介護保険事業計画期間における介護保険料（案）について（4）計画案の素案からの修正箇所について
6 配付資料等一覧	<ul style="list-style-type: none">（1）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画（案）（2）明石市高齢者いきいき福祉計画及び第8期介護保険事業計画（素案）に関する意見募集結果（3）第8期介護保険事業計画期間における介護保険料（案）について（4）計画案の素案からの修正箇所について
7 会議の内容	<p>詳細については別紙参照</p>

会議内容記録

○令和2年度第4回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会の開催及び議決結果について

開催方法について	議決結果について
新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、委員に対して書面議決を実施。	2月5日付けで委員全員から議決書の提出を受け、承認を受けました。

○令和2年度第4回明石市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会（書面開催）における委員の意見と市の考え方について

委員の意見	市の考え方
<p>計画（案）のP49の見守り体制の充実でボランティアによるサロンの記載があるので住民による「ふれあいサロン」の現状数値を加えて欲しい。またボランティアによる地域での「ふれあいサロン」は、制度サービスと合わせて高齢者の孤立を防ぐ居場所であり、住民同士の見守り活動として大切な役割を担っていると思う。</p>	<p>第2章の「4. 高齢者に関わる施策の実施状況」では、第7期計画期間中の取り組みとあわせて、市が実施する各事業の実績を記載している。</p> <p>ボランティアによる地域での「ふれあいサロン」は、ご意見のとおり、高齢者の居場所、住民同士の見守り活動として大切な役割を担っていただいております。今後も、市が推進する、誰もが安心して地域で暮らせる「共生のまちづくり」の実現にむけて、一層の連携や支援が必要であると考えています。</p> <p>このことから、第4章において、民生委員・児童委員、高年クラブ、ボランティアをはじめとし、市社会福祉協議会や医療機関など、高齢者を取り巻く地域組織等と密接な連携のもと、地域における身近な互助を活かした見守り体制の確立を目指すこと（P86）や、介護予防と自立支援の推進の観点からも、サロンや認知症カフェなど、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、これらの通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、市社会福祉協議会等の関係団体と連携しながら、居場所づくり、出番づくりなど、高齢者の社会参加を促進し、誰もが生きがいや役割をもって生活できる地域の実現を目指すこと（P59）を記載している。</p>

<p>このたびの介護保険料においては、コロナ禍での第1号被保険者負担を抑えるため基金の投入は仕方ないが、安定した介護保険事業のためには今後も慎重な取り扱いをお願いしたい。</p>	<p>第8期介護保険事業計画において、計画期間（令和3年度から令和5年度）における第1号被保険者の介護保険料は、コロナ禍において介護保険料の上昇による高齢者の経済的負担を抑えるため、介護保険給付費準備基金を約15億円活用し、第7期計画期間と同額とすることとしている。</p> <p>引き続き、介護保険事業の安定的な運営を図るため、自立支援や重度化防止の取組や介護給付の適正化を推進していく。</p> <p>また、将来の介護保険料の急激な上昇による次世代の負担増とならないよう、同基金の適正な運営に取り組んでいく。</p>
---	--